

# 行財政改革の推進

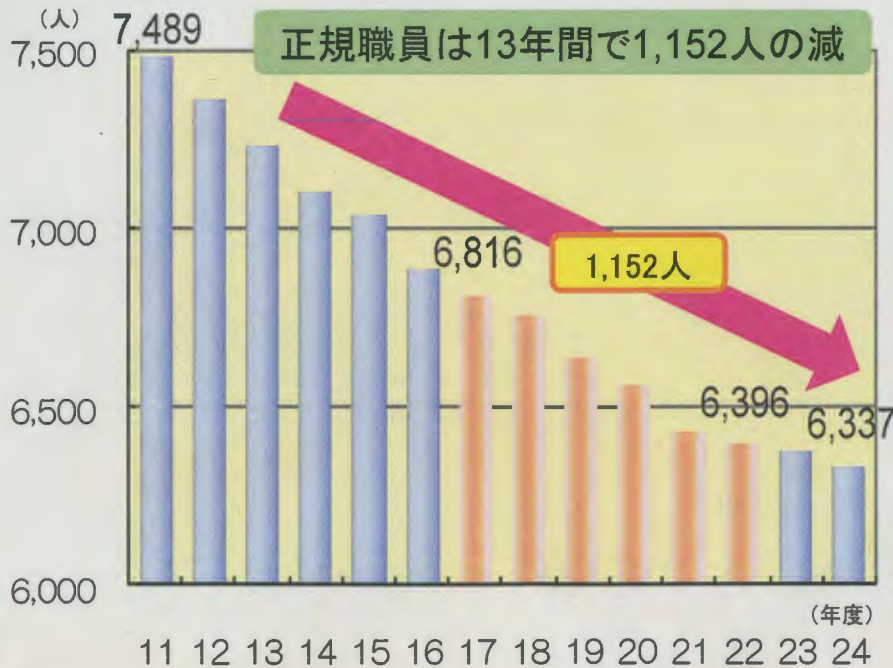
～行財政改革推進大綱実施計画～

## これまでの行財政改革の成果 平成17～21年度

職員純減  
**420人(6.2%)**

効果額  
**392億円**

### 参考：職員数の推移



## 現在の行財政改革の計画 平成22～26年度

平成22年3月に策定した新たな静岡市行財政改革推進大綱では、「行政と民間の役割分担・協働による行政経営」を理念として、市民満足度の高い都市経営を目指している。

### 対象事業

219の事務事業

### 計画額

**238億円**

### ●主な節減項目

- ・適正な定員管理の推進 65億円
- ・最適な組織・機構等の見直し 30億円
- ・民間活力の活用 21億円
- ・下水道事業の経営改善 39億円
- ・補助金等の見直し 27億円
- ・公共事業等のコスト縮減 20億円

### ●主な収入増項目

- ・未利用土地・建物の有効活用、処分促進 29億円

### 平成23年度までの取組状況

※実績には計画外の取組含む

(百万円)

項目	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	合計	
節減	計画	2,495	3,081	5,428	3,963	4,065	19,032
	実績	7,885	8,930	—	—	—	16,815
収入増	計画	1,051	757	1,002	898	1,011	4,719
	実績	884	829	—	—	—	1,713

# 行財政改革の推進

～新たな行財政改革の推進(平成23年度～)

## 行財政改革推進大綱実施計画【追加版】

平成24～26年度(H25. 2改定)

平成23年10月に「まちみがき戦略推進プラン」を策定し、市民の不安を安心に変える施策を重点的に推進することとした。  
この、「まちみがき戦略推進プラン」を推進するため、限られた経営資源のより一層の選択と集中を図り、新たな財源を確保する。

### 対象事業

176の事務事業

### 計画額

**85.7億円**

(まちみがき目標80億円)

#### ●主な取組項目

- ・事務事業の見直し・統廃合 53億円
- ・公共事業等のコスト縮減 19億円
- ・総人件費の縮減 7億円

## 新たに採り入れた手法

静岡市版事業仕分け

「さいこう静岡！静岡市事務事業市民評価会議」

**平成23年度に導入し、25年度も継続して実施**

【実施年度】平成23年度～平成25年度

### 評価結果

結果を翌年度以降の予算に反映

平成23年度 7月30日(土)  
～31日(日)

不要(廃止)	7事業
民間	2事業
市(改善)	36事業
市(現行どおり)	5事業



平成24年度予算  
1億1百万円縮減



37

平成24年度 7月21日(土)  
～22日(日)

廃止(民間含む)	4事業
改善(縮小)	3事業
改善(再構築)	17事業
改善(拡大)	6事業
現行継続	8事業



平成25年度予算  
9千3百万円縮減

# 行財政改革の推進

～今後の行財政改革の推進(平成25年度～)

## 次期行革推進大綱・実施計画の策定

現行革大綱及び実施計画が平成26年度までが計画期間となっているため、25,26年度で新大綱及び実施計画を策定する。

25年度は、現大綱・実施計画の検証と社会経済の環境変化を踏まえ、大綱策定について、行財政改革推進審議会に諮問し、年度末に中間答申を受ける予定。

26年度は、中間答申を受け、新大綱を策定するとともに、年度末までに大綱に基づく新たな実施計画を策定する予定。

行革大綱及び実施計画策定に当たっては、第3次総合計画、財政の中期見通しの策定と連携、整合を図っていく。

## 新たな行政評価制度の構築

現在の静岡市の行政評価制度は、事務事業評価として、平成23年度より、  
内部評価として「静岡市事務事業総点検」、  
外部評価として「事務事業市民評価会議」  
の二つの評価により実施。

25年度は、「事務事業総点検」と「事務事業市民評価会議を」連動させ、行政評価制度の一連の流れとして実施予定。

1次評価(各課)	約1,500事業
2次評価(内部評価委員)	約60事業
外部評価(市民評価会議)	約30事業

市民評価会議は8月24日(土),25日(日)に実施予定

2つの評価制度の実施効果を検証し、「効果的で永続的な行政評価制度」の構築に向け検討していく。